



チャレンジ！一歩前へ

郡山市立橋小学校
学校だより No.44
令和6年12月16日
文責：校長 酒井 健

◇今年の漢字一文字は・・・

皆様、既にご存知のように、今年の「漢字一文字」は『金』でありました。オリンピック・パラリンピックでの金メダル、佐渡金山が世界遺産に、20年ぶりの新紙幣、物価高騰・・・など、金にまつわる様々なことがあった2024年でありました。

ところで、皆さん、今年の「漢字一文字」・・・20位までのランキングは知っていますか。次の20文字でした。



なるほど・・・と感じる漢字が並んでいますね。
③は大谷翔平ですね。
すばらしい活躍でした。

① 金	② 災	③ 翔	④ 震	⑤ 新
⑥ 選	⑦ 変	⑧ 暑	⑨ 梁	⑩ 米
⑪ 大	⑫ 閣	⑬ 高	⑭ 衰	⑮ 政
⑯ 幸	⑰ 和	⑱ 税	⑲ 愛	⑳ 戦

さらに、びっくりしたのは、今年の『金』という漢字は、これまで5回も選ばれていたということです。しかも、すべてオリンピック・パラリンピックの年なんだそうです。2000年・・・シドニーオリンピック、2012年・・・ロンドンオリンピック、2016年・・・リオデジャネイロオリンピック、2021年・・・東京オリンピック、2024年・・・パリオリンピック なんだそうです。

「漢字一文字」は、まさに時代を反映しているのですね。橋小学校の子どもたち、保護者の皆さんにとって、今年の「漢字一文字」は、いったいなんでしょう???

校長のひとりごと

今日は、「きっかけ」についてつぶやいてみます。何事にも、きっと「きっかけ」がある・・・といつも感じています。その「きっかけ」をもとに、人生が決まることもあるのではないのでしょうか。まず、私の「きっかけ」についてお話をしてみますね。60歳・・・還暦を迎えた私は、今、なにかと音楽に携わっております。では、この音楽との出会いは・・・ということ、幼少の頃までさかのぼります。私の母親は、自宅でピアノ教室をやっていて、何人もの生徒さんが家でピアノのレッスンをしていました。ですから、小さい頃から音楽が耳に入っていました。自分でもなんちゃってピアノを少し弾いていました。小学生となり、小学校4年生から合奏部に入り、そこで出会った楽器がチェロでした。右の写真は、ある先輩が、「当時の写真ありますよ」と送ってくれたものです。写真をカメラで撮ったものですが画像は悪いのですが・・・なんと、私の小学校6年生の時、今から48年前の写真です。ここで、チェロと出会うという「きっかけ」があったわけです。その後、中学校、大学とオーケストラ部に入り、教師になってからは、合奏部の顧問として、音楽に長年携わってきました。



12歳の酒井少年です。

今年9月の郡山ジュニアオーケストラの定期演奏会では、文化センターで、モーツァルト作曲の歌劇「魔笛」序曲の指揮をさせていただきました。この時は、4月に息子からプレゼントされた赤の指揮棒(還暦棒)を使って指揮をしました。こうやって、長年にわたって音楽に携わっていられるのは、幼少の頃のピアノの音、小学校でのチェロとの出会いがあったからだと思います。あの出会いがなかったら・・・全然違う方向へいっていたのかも知れません。そう考えますと、「きっかけ」というのは、とても大切な人生のスタート地点であると思います。



48年後の酒井です。
HPでご覧になると、指揮棒が赤のが分かります。

今、橋小学校の子どもたちの前にも、様々な「きっかけ」があります。そして、この「きっかけ」をもとに、これから、大きく飛躍することができる子どもたちであります。子どもたちが、10年、20年先の将来、「あの時、あの出会いがあったから、今の自分があるんだ」と言える日が必ずある・・・私は、そう思います。

今は、これが「きっかけ」かな? なんて考えられないと思います。今、大切なことは、目の前にあることを一生懸命にやることです。

そして、10年、20年先の将来に「あ～、あの時の、あれが・・・」と、その「きっかけ」に気付くのかも知れません。皆さん、「きっかけ」がいっぱい転がっていますよ。